

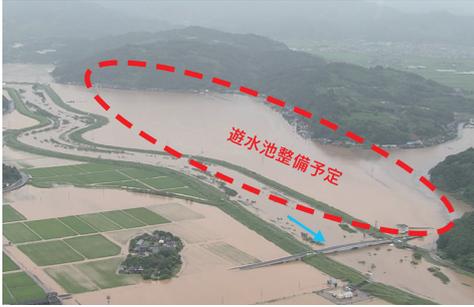


# 水害の頻発・激甚化に対応する治水対策の推進

ここ数年来、平成29年7月九州北部豪雨、平成30年7月豪雨、令和元年8月豪雨など、気候変動の影響等により激甚な災害が頻発している状況に鑑み、災害から国民の命と暮らしを守るためには、これまでの教訓や検証を踏まえ、抜本的かつ総合的な防災・減災対策を講じる必要があります。

## 治水安全度の向上に大きく寄与する抜本的な治水対策

安全・安心を確保し、社会経済の活力を維持・増進していくため、激甚な水害が発生した地域等において、集中的に防災・減災対策を実施します。また、想定される被害状況等を踏まえ、早期に治水安全度の抜本的な向上を図るため、治水対策を重点的に実施します。



激甚な水害が発生した地域での遊水池整備  
(六角川水系における河川激甚災害対策特別緊急事業)



流下断面拡大のための堤防(引堤)を整備  
(川内川河川改修事業)



治水ダムの建設  
(立野ダム建設事業)

## 流域が一体となった治水対策

災害の激甚化・頻発化に加え、多様化・複雑化による、これまでの対策では対応しきれない、広域で大規模な被害、河川の油流出等の新たな課題に取り組むため、国・県・市町等が連携し、地域が連携した浸水被害軽減対策や「まちづくり」による水害に強い地域への誘導等を推進します。

また、「既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針」(令和元年12月12日)に基づき、既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた新たな運用を行えるように、関係利水者等と連携を図りながら取り組んでいます。

## 住民目線のソフト対策

河川管理者・都道府県・市町村等からなる大規模氾濫減災協議会を設置し、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現するため、関係機関と一体となって様々なソフト対策を推進しています。

また、水害・土砂災害情報を住民に適切に伝えるため、大雨時には専門家による解説に取り組んでいます。



事業所を対象とした  
河川防災・減災セミナーの開催



自治体との連携による  
地域住民のタイムライン作成支援



気象台との合同記者会見により  
大雨、洪水への警戒を呼びかけ

# 総合的な土砂・火山災害対策の推進

火山地域等における荒廃地域の保全を行うとともに、土砂・流木等の流出による災害から人命、財産等を守ることを目的に砂防設備等の整備を推進します。



大淀川水系直轄砂防事業(宮崎県都城市)



桜島直轄砂防事業(鹿児島県鹿児島市)



雲仙直轄砂防事業(長崎県雲仙市、島原市、南島原市)

# 治水事業の整備効果

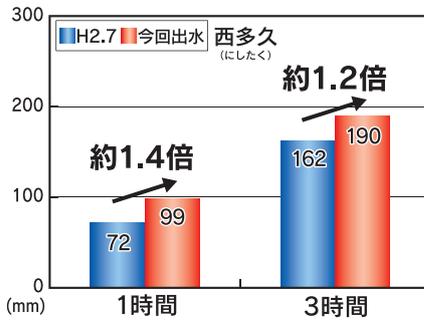
## 六角川水系牛津川(牟田辺遊水地の整備による水位低減効果)

六角川水系牛津川では、洪水被害の低減を目的とした「牟田辺遊水地」を整備し、平成14年に完成しました。  
令和元年8月豪雨では、堤防決壊や甚大な浸水被害をもたらした平成2年7月豪雨時の雨量を大きく上回りましたが、牟田辺遊水地で最大約140万㎡の洪水を貯留し、8月27日の豪雨では下流ポンプの運転調整を回避するとともに、8月28日の豪雨では下流の砥川大橋地点で水位を約60cm低下させました。

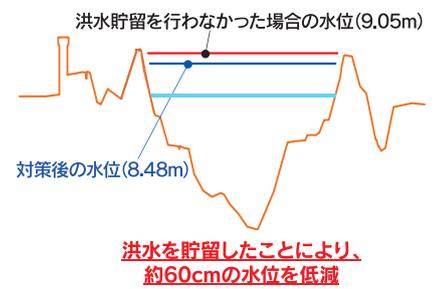
◇令和元年8月豪雨の牟田辺遊水地貯留状況



◇雨量の比較(H2.7豪雨との比較)



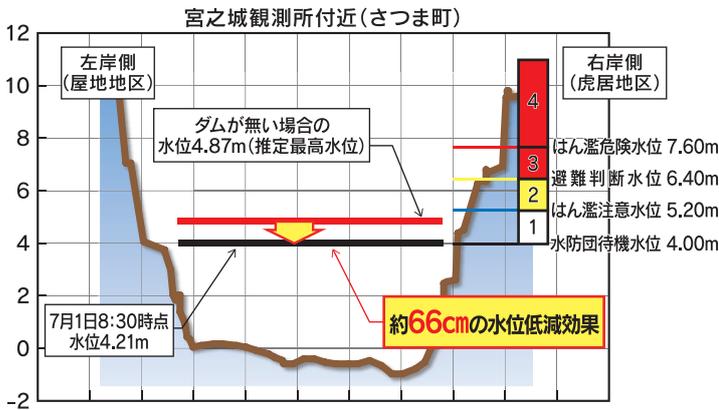
◇牛津川7k400付近(砥川大橋地点)



## ダム事業の効果

鶴田ダムでは、令和元年6月30日から7月3日の低気圧による大雨に伴い、防災操作を実施しました。ダム下流の宮之城観測所付近(さつま町)で、最大約66cmの河川水位低減効果があったと推定しています。

◇宮之城付近での鶴田ダムの水位低減効果(7月1日8時30分)



## 砂防事業の効果

平成29年7月九州北部豪雨では、大量に発生した土砂や流木を既設のダムや砂防堰堤等で捕捉し、下流域の被害軽減を図りました。



# 大規模災害に対する港湾の防災・減災対策の推進

高潮等による被害から背後地を防護するための海岸護岸等の整備を推進します。  
また、南海トラフ巨大地震による津波被害を軽減し、早期に港湾機能、産業活動を再開させるための防波堤の整備や、緊急物資輸送を支える耐震強化岸壁の整備を推進します。



高波・高潮対策のための離岸堤や護岸の整備(指宿港海岸)



緊急物資輸送を支える耐震強化岸壁の整備(八代港)

## 道路の老朽化対策の推進

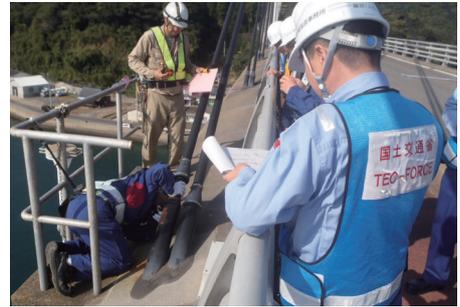
橋梁やトンネル等の1巡目の定期点検(5年に1回)が平成30年末に概ね完了しています。  
老朽化対策の推進にあたっては、各県メンテナンス会議にて国県市町村の各道路管理者が共通認識をもって一体的に取り組んでいます。  
また、地方公共団体管理の橋梁について、直轄診断・修繕代行による技術的支援を行っています。



トンネル定期点検(点検状況)



橋梁修繕(床版打ち替え)



直轄診断・修繕代行(直轄診断状況)

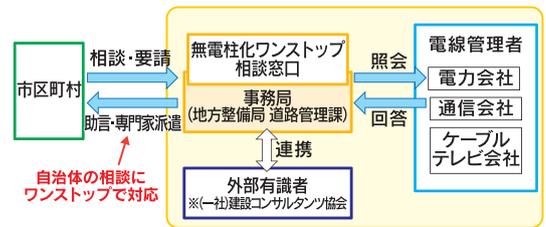
## 無電柱化の推進

無電柱化推進計画(平成30年4月6日決定)に基づき、総合的、計画的かつ迅速に無電柱化を推進します。

### ◇一般国道3号 東比恵地区(令和元年度事業完了)



〈R1.9.30 九州地区無電柱化ワンストップ相談窓口を設置〉



【問合せ先】道路部 道路管理課

TEL:092-476-3533(直通) FAX:092-476-3481

## 通学路等における交通安全対策の推進

ビッグデータを活用し潜在的な危険箇所を特定することで、速度抑制や通過交通の進入抑制対策を実施しています。

### 【ヒヤリ・ハット(急減速)発生箇所】



### 【地区内走行車両の走行速度】



▲ETC2.0プローブ情報を用いた分析(福岡県那珂川市)

### ハンブによる速度抑制対策実証実験事例(福岡市)



(※)ハンブ:自動車の走行速度を低減するために道路上に設けられた凸型の構造物

## 自転車通行空間の整備

歩行者、自転車及び自動車が適切に分離された自転車通行空間の計画的な整備を促進します。  
また、サイクルツーリズムによる地域観光づくりを推進し、自転車を活用した地域の活性化を目指します。

### ◇歩行者と分離された自転車通行空間の整備



自転車道



自転車専用通行帯



車道混在

### ◇廃線跡を利用した自転車通行空間



メイプル耶馬サイクルロード